

# いしずえ

発行日 令和8年6月1日(月) 第214号

編集・発行：一般社団法人沼津建設業協会 広報みらい委員会  
沼津市本田町9-33 電話(055)943-6726

<http://numazukenkyo.jp/>



特集

建設業界の未来を築く

「企業型DC」制度導入のススメ

～人手不足解消と、会社・社員を守る新たな福利厚生の形～

深刻な人手不足が続く建設

業界において、優秀な人材の

確保と定着は最優先課題で

す。資材高騰や工期遵守に加

え、「担い手確保」という極

めて困難な課題に直面してい

ます。こうした中、大手企業

との福利厚生との格差を埋め、

若手からベテランまで「安心

して働ける場」を提供するこ

とが、企業の持続可能性を左

右します。そのような中、現

在、多くの企業が注目してい

るのが「企業型確定拠出年金

(企業型DC)」制度です。

会社・役員・社員の三方に

メリットをもたらすこの制度

が、貴社の経営基盤をより強

固なものにします。建設業界

を取り巻く環境は、今、多く

の成長企業が選んでいる「企

業型確定拠出年金(企業型

DC)」の価値をご説明します。

【ポイント1】

採用力の強化と離職防止

・「選ばれる企業」の共通点

求職者が企業を選ぶ際、給

与額と同様に注視するのが

「退職金制度の有無」です。

企業型DCを導入することで、

会社が社員の将来を真剣に考

えているというメッセージに

なり、採用市場での強力な武

器になります。

・「長く働きたい」と思える

環境作り

公的年金への不安が高まる

中、会社が資産形成の場を提

供することは、社員の生活を

守り、帰属意識を高めること

に直結します。

【ポイント2】

社会保険料の最適化による

経営効率向上

・社会保険料の適正化

「選択制」という設計を採

用した場合、社員が拠出する

掛金分は標準報酬月額算定

から除外されるため、会社・

社員双方の社会保険料負担が

軽減される可能性があります。

労使双方にとっても「実質的

な手取りアップ」と「コスト

削減」が可能に。

**建設業界の未来を築く「企業型DC」導入のススメ**  
～人手不足解消と、会社・社員を守る新たな福利厚生の形～

**【ポイント1】 採用力の強化と離職防止**  
企業型DCで福豊かなライフプラン  
企業型DC積立グラフ  
得業の安心、資産形成、学費準備、豊かな老後資金

**【ポイント2】 会社と社員、双方のコストを最適化**  
社会保険料の削減効果  
社会保険料の削減効果

**【ポイント3】 経営者・役員、退職金積立として**  
5.5% 最大貢献  
全額 蓄入  
全額 蓄入

**【ポイント4】 社員の「お金の相談窓口」を外部に設置**  
社員の「お金の相談窓口」を外部に設置

**人生の節目に企業型DCが寄り添う**  
20代：就職・結婚、30代：住宅購入・子育て、40～50代：教育費ピーク、60代～：セカンドライフ

「企業型DCが大きな力となるのは、会社と社員がともに取り組むことです。会社は、社員が安心して働ける環境を整え、社員は、企業型DCの導入をぜひご検討ください。」

【ポイント3】  
 経営者・役員の退職金積立  
 として

- ・最大月額5.5万円を  
 全額損金積立

役員自身も加入でき、掛金は全額損金算入。個人の所得税・住民税も非課税となるため、非常に効率的な資産形成ルートを確認できます。役員個人の老後資金対策と同時に、法人税対策もできる制度です。

【ポイント4】

社員の「お金の悩み」を  
 放置しない、外部の専門家  
 の伴奏サポート

制度を導入するだけでなく、社員がその恩恵を最大限に受けられるよう、外部の専門家がしっかりと伴走します。

・納得感のある導入説明会  
 投資の経験がない社員様にも「なぜ今これが必要なのか」

「元本確保と運用の違い」などを、専門用語を抑えて丁寧に解説します。

・社員一人ひとりの「人生相談窓口」

資産形成の悩みは、家族構成や住宅ローンの有無など、千差万別です。外部の専門家が個別相談に応じることで、会社には言いにくいお金の悩みも「社員のお金の相談窓口」を通じて解決できます。

・金融知識の向上は仕事への集中に繋がる

お金の不安が解消された社員は、より前向きに業務に進めるようになります。これは、現場の安全や品質向上にも寄与する隠れたメリットになります。

【結びに…沼津建設業協会の皆様へ】

「事務手続きが大変そう」「うちは人数が少ないから」と思われるかもしれませんが、ご安心ください。現在は、中小企業に特化した低コストかつ事務負担の少ないパッケージが普及しています。沼津建設業協会の企業経営、そして社員の皆様の「いしずえ(礎)」として、企業型DCの導入をぜひご検討ください。

**【お問合せ】**  
 株式会社CRANE 055-929-2088  
 沼津市若葉町22-8 info@crane-asset.co.jp

## 建設業界の未来を築く『企業型DC』導入のススメ

～人手不足解消と、会社・社員を守る新たな福利厚生形の形～

**【ポイント1】**  
 採用力の強化と離職防止

『将来の安心』が選ばれる理由に  
 社員の老後不安を解消

**【ポイント2】**  
 会社と社員、双方のコストを最適化

社会保険料の削減効果  
 『選択制』の設計

20代:	30代:	40～50代:	60代～:
就職・結婚	住宅購入・子育て	教育費ピーク	セカンドライフ

企業型DC積立(資産形成)  
 企業型DC積立(養老形成)

**【ポイント3】**  
 経営者・役員の退職金積立として

最大月額5.5万円まで拠出可能  
 全額損金算入 非課税

**【ポイント4】**  
 社員の『お金の相談窓口』を外部に設置

納得感のある導入説明会  
 個別相談でサポート  
 継続的な投資教育

**小規模企業でも低コストで導入可能**  
 沼津建設業協会の皆様の企業経営、そして社員の皆様の『いしずえ(礎)』として、企業型DCの導入をぜひご検討ください。

沼津建設業協会 DCのいしずえ

令和8・9年度  
役員紹介

会長



加藤 修一  
(株)加藤工務店  
代表取締役

副会長



長田 崇  
(株)オサコ一建設  
代表取締役



高村 和秀  
(株)集組  
代表取締役

理事



町田 直繁  
(株)大藤建設  
代表取締役



落合 孝佳  
(株)落合建設  
代表取締役



長岡 重弘  
(株)富士峰建設  
代表取締役



内野 聡  
(株)大岡建設工業  
代表取締役



土佐谷 文輔  
(株)土佐谷組  
代表取締役



稲村 明子  
(株)稲村建設  
代表取締役



渡邊 裕介  
(株)渡邊工業  
代表取締役社長



林 則夫  
(株)林組  
代表取締役



勝又 惠一郎  
(株)岳南建設  
代表取締役社長



鈴木 昌彦  
(株)東静建設  
代表取締役



白井 康晴  
(株)白幸産業  
代表取締役社長

監事



渡邊 雄二  
(株)渡辺建設  
代表取締役会長



佐藤 宗徳  
(株)佐藤建設  
代表取締役社長

員外監事

山本 豊一

山本公認会計士事務所  
代表取締役

令和8・9年度  
委員会委員紹介

※委員名の(株)は省略

(経営厚生委員会)

委員長

副委員長

委員

勝又 惠一郎 (岳南建設)

内野 聡 (大岡建設工業)

芹澤 真一 (トープ)

佐藤 敏春 (藤幸建設)

白岩 敦 (白岩建設)

土屋 雅一 (東土建)

平尾 健太郎 (丸勇建設)

岩田 治彦 (眞田建設)

椎田 政樹 (大岩)

針山 直樹 (白幸産業)

(安全委員会)

委員長

副委員長

委員

長岡 重弘 (富士峰建設)

金澤 清文 (大栄工業)

芹澤 茂範 (岳南建設)

中島 純一 (山田組)

佐藤 進 (飯田建設工業)

長田 健一 (長田土木)

山口 浩和 (浩和建設)

杉澤 教人 (大志建設)

成川 敏信 (小林道路)

河西 大樹 (河西建設)

鈴木 浩二 (渡辺建設)

永木 晋 (渡邊工業)

永野 重巳 (寿組)

山崎 守 (山幸建設)

水谷 靖 (白幸産業)

室伏 良太 (室伏組)

(技術委員会)

委員長

副委員長

委員

鈴木 昌彦 (東静建設)

一土木舗装・農地森林部会

鈴木 昌彦 (東静建設)

土佐谷 文輔 (土佐谷組)

工藤 芳経 (植松建設)

樽林 誠司 (樽林建設)

(建築部会)

部会長

副部会長

委員

町田 直繁 (大藤建設)

渡邊 正高 (渡辺建設)

小塩 祐樹 (川村組)

石田 和幸 (大岡建設工業)

鈴木 喜清 (大增建設)

遠藤 智広 (稲村建設)

渡邊 広也 (勝間田工業)

松井 裕 (松井建設)

(広報みらい委員会)

委員長

副委員長

委員

稲村 明子 (稲村建設)

林 則夫 (林組)

佐藤 宗徳 (佐藤建設)

一杉 昭宏 (一杉興業)

小長 谷啓介 (東光建設)

渡邊 裕介 (渡邊工業)

立道 貢一 (陸産業)

鈴木 博昭 (東静建設)

田代 靖和 (田代建設)

(災害対策委員会)

委員長

副委員長

委員

白井 康晴 (白幸産業)

落合 孝佳 (落合建設)

眞田 和政 (眞田建設)

渡邊 裕介 (渡邊工業)

沼田 秀人 (落合建設)

杉澤 研三 (大志建設)

曾我 部剛 (日建建設)

久慈 謙 (新田建設)

勝又 芳信 (植松土木)

山本 誠一 (山田組)

関 真太郎 (関建業)

芹沢 智樹 (芹澤建設)

高杉 嘉伸 (三晃建設)

田代 和美 (田代建設)



**痛くなってからでは遅い  
あなたの歯の健康は  
大丈夫？**

55歳から74歳の方が対象の「人生の振り返り」に関する調査結果の中で、「健康」について後悔していることの第

一位は「歯の定期検診を受ければよかった」でした。しかし、過去1年以内に歯科検診を受診した方は、20歳以上の約6割にとどまっており、4割の方が歯科検診を受診していない現状があります。

また、40歳以上のおよそ2人に1人が歯周病にかかっているとのデータもあります。

歯科検診では、自覚症状がなく気づきにくい初期のむし歯や歯周病を早期に発見できます。むし歯は原則として自然に治ることはなく、治療が必要です。早期の治療により、痛みを抑え、治療期間や費用を軽減することが可能です。

一方、歯周病やむし歯を放

置すると、痛みや出血、歯茎のはれに加え、口臭が強くなる場合があります。さらに症状が進行すると、最終的には歯が抜け落ちることもあります。歯は、かむこと、言葉の明瞭な発音、表情作りなどの多くの役割を担います。歯を失うと、食事や会話に支障をきたします。

その上、歯周病は、糖尿病の重症化リスクを高め、脳卒中や心疾患、認知症の発症リスクを増加させるなど、全身の健康に影響を及ぼします。歯の健康管理は、全身の健康維持に欠かせません。

そこで大切なのが、定期的な歯科検診と、歯みがきなどの毎日のセルフケアの両輪の取組です。歯みがきは、一日2回（寝る前+1回）以上、ブラシヘッドの小さい歯ブラシを選び、フッ化物配合歯みがき剤の使用がおすすめです。歯と歯の間の汚れを取り除くには、歯間ブラシやデンタルフロスが便利です。

6月4日から10日は、「歯と口の健康週間」。この機会

に歯科検診を受け、御自身の歯の状態を確認し、最適なセルフケアについて専門家からアドバイスを受けてはいかがでしょうか。

各市町では、歯周病検診を実施しており、対象年齢の住民の方には費用助成があります。積極的に活用ください。



市町の歯周病検診情報はこちらから



私の趣味にプロ野球観戦がある。昔は巨人戦を中心に限られた試合が全国ネットのテレビで放送されるだけだったが、現在は動画配信で本拠地の試合もビジターの試合も殆ど見ることが出来る。観れる機会が増えればチームに詳しくなる、選手に詳しくなる、より応援しているチームにのめり込む。現在はかつてより、スポーツ観戦というものが身近になったといえる。

指定席化はもちろんメリットはある。まず良い席を確保するために早い時間から球場へ行って並ぶ必要がない。試合直前に行っても問題ない。一方でデメリットなのは結局良い席をとるための競争が試合当日からチケット販売日に移っただけなので、早い段階から良い席を確保しようとチ

ところがオンラインの視聴が身近になった反面、現地での試合を観ようとなると、段々敷居が高くなったように思える。なぜなのか。

まずチケットが高騰している。私はヤクルトスワローズのファンだが10年ほど前と比べて神宮球場のチケット料金はほぼ倍以上になった。しかも現在は試合ごとに価格が変動しているので1万円を越す価格で販売されるなんてザラだ。モノの値上がりはスポーツ界にも影響を及ぼしている。

二つ目の理由が座席の指定席化だ。以前はプロ野球の試合の指定席は一部の席種で外野席などは自由席がメインだった。ところが最近はオンライン販売が主体となったこともあり全席指定席になっている。

指定席化はもちろんメリットはある。まず良い席を確保するために早い時間から球場へ行って並ぶ必要がない。試合直前に行っても問題ない。一方でデメリットなのは結局良い席をとるための競争が試合当日からチケット販売日に移っただけなので、早い段階から良い席を確保しようとチ

ケット争奪戦が進む、早い時期からチケットを確保しなければ試合を観れないという意識が生まれ、それが回りまわってチケットが早い段階で売れ、売り切れの試合が続出する。ヤクルトの試合に限らず最近のプロ野球の試合はチームの好不調に限らずどのチームも平日でも満員だ。

もちろん球団の収益を考えれば満員の試合が増えることは良いことだ。しかし私たちがのような地方に住む先の用事の見通しをたてにくい仕事をしている者にとって、一か月以上先の予定を確保して現地で野球観戦することは難しい。これまでできた、明日の休み予定がないから野球見に行くかという、ふらっとした観戦が極めて難しくなっている。

技術の発展は視聴環境の多様化という面ではプロスポーツをより身近なものにしてくれた。一方でかえって不便になってしまった側面もある。プロ野球界にとってどのようになチケットの売り方が理想なのか、ひとりのファンとしてこれからも考えていきたい。

## 現場代理人の声

山旺建設工業(株)  
杉本 登志雄

私は現在56歳、20歳の頃から建設業一筋で歩んできました。これまで主に道路舗装工事に携わり、現場代理人として多くの現場を経験してきました。普段何気なく使われている道路ですが、自分が携わった場所を人や車が安全に通っている様子を見ると、この仕事のやりがいや責任の重さを改めて実感します。地域の暮らしを支える仕事に携わっているという誇りが、日々の原動力となっています。

これまで、舗装工事だけでなく、土工事、矢板護岸工事や道路改良工事など、様々な土木工事に携わってきました。現場は一つとして同じものではなく、天候や地盤条件、周囲の環境によって状況は変わります。その都度、最適な判断を行いながら施工を進めることが求められますが、職人さんや関係者と声を掛け合いながら一つ一つのものを作り上げていく過程に、この仕事の面白さとやりがいを感じています。私がこの業界に入った頃は、今のようにパソコンやデジタル機器はほとんどなく、図面は手書き、測量や記録もすべて人の手で行っていました。先輩方の背中を見て仕事を覚え、時には厳しく指導されながら技術を身につけてきました。その経験を通じて培った基礎や現場感覚は、今でも自分にとって大きな財産となっています。現在でも「基本を大切にすること」「現場をよく見ること」を常に意識しながら仕事に取り組んでいます。近年ではICT施工やデジタル化が進み、現場の在り方も変化しています。効率化や精度の向上といった利点を実感する一方で、これまで培っ

てきた経験や現場での判断力も重要であると感じています。新しい技術を取り入れながら、それらを現場にどう活かしていくかを考え、より良い施工につなげていくことが、これからの現場代理人に求められる役割だと思っています。今後も地域の安全・安心を支えるインフラ整備に貢献できるよう、責任を持って一つの現場に向き合い取り組んでいきたいと考えています。そして、自分がこれまでに培ってきた技術や経験を若い世代へ伝え、次の時代へと継いでいくことも大切な役割だと感じています。

私の余暇  
At one's leisure

江戸の古地図を見ながら、池波正太郎先生がかよったお店で美味しいものを食す。これが数年後の私の余暇になる予定だ。

思い起こせば小さいころから時代劇が大好きだったから、土壌はできていたのかもしれない。7つ上の兄の部屋に忍び込んで読む時代小説は「忍び込む」という背徳感と「大人の世界を覗く」という高揚感で中学生の私を夢中にさせた。父の書棚にも本は多かったが、自己啓発本のような社会人の読み物ばかりで中学生には魅力的に映らなかったらしい。もちろん別マも愛読していたし、ユーミンも少年隊も好きだったが、インターネットもなかった時代、勉強に充てる時間はなくとも読書に

充てる時間は十二分にあったのだ。

私の中で時代物の名手といえば今も昔も「池波正太郎」だ。鬼平犯科帳はあまりにも有名なのでご存じの方も多いだろうが、私のおススメは「剣客商売」。剣の達人秋山親子の活躍と市井の人々の生活が生きた生きと描かれている。活字を見ると眠くなる人も大丈夫。とにかく一文が短い。そして「会話」が多い。あとは美味しそうな食べ物がたくさん出てくる。話がテンポよく進むから読みやすい。が、「うーん」と唸る情景がそこにはある。

まだ読んだことのない方、ぜひお試しを。そして数年後には江戸古地図散歩を片手に江戸の町へと出かけましょう。



### 協会の動き

#### 強化安全。パトロール

1月14日、安全委員会（長岡重弘委員長）は、沼津労働基準監督署長谷川安全衛生課長、沼津土木事務所芹澤検査員、東部農林事務所溝口検査員の同行を得て、全12人で強化安全パトロールを実施した。対象となった沼津・長泉・裾野地区の築堤盛土工事、溪流保全工事、護床工事の計3箇所の工事で、書類や掲示物、重機、作業現場の安全対策などの確認を行った。

小石の道路下部作業員への飛散防止措置を図ること、市街地工事であり、進入道路での大型運搬車両の交通事故等第三者事故の防止を徹底していただきたいと呼びかけた。



#### CIIM活用セミナー

1月28日、経営厚生委員会（勝又恵一郎委員長）は、協会会議室を会場に、計画・設計・施工各段階CIIM活用セミナーを開催し、19人が受講した。

テーマは「土木工事の施工におけるICT活用とCIIMについて」。インフラ整備の根幹である土木分野に直結するCIIMの活用方法について、福井コンピュータ（株）中部営業所の常重講師が講習を行った。内容は、土木設計における発注図書からのCIIMモデル作成方法や3Dモデルを使った施工管理の方法など実務についての説明も含まれ、土木技術者である受講者に、大変好評であった。

セミナー終了後のアンケートでは、「実際のソフトの実演が大変分かりやすく、3次元設計データの作成方法を詳しく教えて頂きたい」などの意見が寄せられた。

#### 沼津工業高校建築科特別授業

2月6日・4月30日の両日、沼津工業高校において、建築科1年生25名を対象にした特別授業が開催され、会員企業6社から6名の若手社員が参加した。

「若手社員と建設業界の未来を考える」と題して、生徒と若手社員がグループに分かれて、魅力ある建設業の姿について討議するもので、生徒の建設業への理解促進と入職者の増加、若手社員間の仲間づくりなどを目的としている。令和4年度開始以降、4回目の開催。



始めに若手社員から実際に業務に就いてからの成功や失敗の体験、仕事のやりがいや難しさなどを紹介し、生徒からの様々な質問に答えた。その後、「建設業界の魅力の伝え方、高校生の採用育成、定着に向けた取り組み」をテーマにして、各班で自由討議を2日間に渡り行った。

#### 沼津工業高校建築科測量実習の支援

沼津工業高校建築科2年生の測量実習のカリキュラムは、4班ごとに年間6回の授業が予定されており、このうち、2回分の実習を協会会員4社が担当し実践的な実習を行っている。初回は5月14日と21日に実習が行われ、学校のグラウンドにおいて、BM設定及び水盛遣方製作、トランシット据付方指導、位置出し・開閉誤差確認等を行った。



#### 定時・通常総会

5月13日、沼津建設業協会と沼津地区建設業協同組合（加藤修一理事長）、防災防静岡県支部沼津分会（同分会長）は、令和8年度定時・通常総会を沼津市内のホテルで開催した。

議事では、3団体の令和7年度事業報告・決算報告、8年度事業計画・予算案などが承認されたほか、任期満了に伴う役員改選を行い、役員の新任・留任が承認された。また、同日開かれた理事会において、加藤修一会長の再任が決定した。





**その他の事業**

- ・ 定例監査(1月20日)
- ・ 県建設業協会理事会
- ・ (1月22日)
- ・ 正副会長会議(2月16日)
- ・ 理事会(2月25日)
- ・ 県建設業協会理事会
- ・ (2月26日)
- ・ 安全委員会、防災防沼津分会
- ・ 講師打合(3月2日)
- ・ 狩野川流域治水協議会
- ・ (3月3日)
- ・ 広報みらい委員会(3月6日)
- ・ 災害対策委員会(3月11日)
- ・ 臨時総会(3月18日)
- ・ 献血活動(3月23日)
- ・ 道路啓開検討会(3月30日)
- ・ 技術委員会(4月8日)
- ・ 技士会代議員会(4月8日)
- ・ 安全委員会(4月14日)

- ・ 年度監査(4月17日)
- ・ 広報みらい委員会
- ・ (4月20日)
- ・ 県建設業協会理事会
- ・ (4月23日)
- ・ 理事会(4月24日)
- ・ 経営厚生委員会
- ・ (4月28日)
- ・ 足場特別教育(5月8日)
- ・ 県建設業協会ほか総会
- ・ (5月20日)
- ・ 建連連総会、防災防支部代
- ・ 議員会(5月21日)
- ・ 沼津河川国道事務所災害対
- ・ 策車両訓練(5月26日)
- ・ フルハーネス型安全帯使用
- ・ 作業特別教育(5月27日)

**各種表彰**

- ・ (全国建設業協会会長表彰)
- ・ 5条
- ・ よく職務に精励し、勤務成績が良好である者。
- 小泉 博氏 (渡辺建設(株))
- 秋山俊明氏 (株土佐谷組)
- ・ (静岡県建設業協会会長表彰)
- ・ 2条4号(会社役員)
- ・ 地区協会の会員として又会員の代表者として永年企業経営の要職に在りかつ業界の健全な発展のため尽力し、その
- ・ 功績が顕著な者
- 勝間田裕子氏
- ・ (株勝間田工業代表取締役)
- 飯田太志氏
- ・ (株飯田建設工業代表取締役)
- ・ 5条(従業員・精勤)
- ・ よく職務に精励し、勤務成績が良好な者。
- 佐藤哲哉氏(株加藤工務店)
- 廣部昌樹氏(渡邊工業(株))
- 佐藤 薫氏(株寿組)
- 小泉直樹氏(株オサコー建設)
- 佐藤 進氏(株飯田建設工業)
- 菊地隆宏氏(岳南建設(株))
- 叶内正彦氏(藪田建設(株))
- ・ (全国中小建設業協会会長表彰)
- 落合孝佳氏
- ・ 落合建設(株)代表取締役
- ・ (静岡県建設業団体連合会会長表彰)
- 内野 聡氏
- ・ 大岡建設工業(株)代表取締役
- ・ (静岡県建設業協会建設もの創り大賞)
- ・ 土木部門/優良賞
- 白幸産業(株)
- ・ 令和5年度社会資本整備総合交付金事業 町道2415号線道路改良工事

**主要行事予定**

- ・ 安全大会・安全祈願祭
- ・ (6月2日)
- ・ JCMセミナー
- ・ (6月5日・12日)
- ・ 沼津工業高校建築科3年生現場見学会(6月9日)
- ・ 就職に関する意見交換会
- ・ (6月15日)
- ・ 型枠支保工作業主任者講習
- ・ (6月16~17日)
- ・ 会員旅行(6月19~21日)
- ・ 沼津工業高校都市環境工学科3年生現場見学会
- ・ (6月23日)
- ・ 技士会代議員会(6月24日)
- ・ 県建設業協会理事会
- ・ (6月25日)
- ・ 強化安全パトロール
- ・ (7月2日)
- ・ 地山掘削・土止支保工作業主任者講習(7月7日~9日)
- ・ 県協理事会(7月23日)
- ・ 広報みらい委員会
- ・ (7月28日)
- ・ 足場組立て作業主任者講習
- ・ (7月28日~29日)
- ・ 親子現場見学会(8月5日)
- ・ 足場点検実務者研修
- ・ (8月26日)
- ・ 技士会1日研修(8月28日)
- ・ 強化安全パトロール
- ・ (9月2日)
- ・ 職長安全衛生教育講習
- ・ (9月9~10日)
- ・ 県協理事会(9月17日)
- ・ 広報みらい委員会旅行
- ・ (9月25~26日)



**建退共加入事業所のみならず**  
建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました!

①電子申請方式とは  
共済証紙に代わる「退職金ポイント」という電子ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済者の掛金として充当するものです。

②電子申請方式の申し込み方法は  
電子申請方式申込書をダウンロードし建退共静岡県支部に提出。

**電子申請方式のメリット**

- ①金融機関で証紙を購入する必要はありません
- ②手帳への証紙貼付や下請への現物交付が不要
- ③共済証紙受払簿の作成・管理が不要
- ④新規手帳申込等がオンライン申請できます
- ⑤加入履行証明願の作成が負担軽減
- ⑥発注機関等への提出・提示書類が軽減されます

【電子申請方式の操作方法についてのお問合せ先】 TEL 0120-006-175  
建退共静岡県支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階 TEL 054-255-6846

## 会員紹介 (株)金田工務店

株式会社 金田工務店は、1949年(昭和24年)2月、当時の田方郡戸田村戸田において初代・金田清吉が創業したことに始まります。その後、1996年(平成8年)6月に法人化し、地域に根ざした建設会社として着実に歩みを重ねてきました。創業当初は設計事務所としてスタートしましたが、時代の流れや地域

のニーズに応じて事業領域を広げ、山から石を切り出す土木関連事業へと転換しました。当時は火薬やツルハシ、スコップ、トロッコなどを用いた手作業が中心でしたが、地域に先駆けて掘削機やブルドーザー・クレーンなどの機械を導入し、作業の効率化と安全性の向上を実現しました。三代目となる現社長も若い頃から現場のオペレーターとして第一線で経験を積み、多くの工事に携わりながら技術と知識を磨いてきました。現在では公共工事を中心に、道路やインフラ整備、河川砂防工事、港湾工事など幅広い分野を担い、地域社会の基盤づくりに貢献しています。また、冬季には地元戸田地域の安全な暮らしを支えるため、欠かさずこのできない雪氷業務にも取り組んでいます。

これまでに培ってきた確かな技術力と豊富な経験を礎に、地域貢献活動にも積極的に取り組み、地元で信頼され、愛される企業であり続けることを目指しています。今後も全社員が一丸となり、安全・品質・信頼を大切にしながら、さらなる発展と地域社会への貢献に全力で取り組んでまいります。

## 会員紹介 (有)長田土木

創業57年の歴史を有する当社は、地域に根ざした小さな土木会社として、公共工事を中心に堅実な事業運営を続けてまいりました。創業以来、道路工事・舗装工事・河川工事・下水道工事などの社会インフラ整備に携わり、長年

にわたり培った技術力と現場対応力を基盤に、確実かつ丁寧な施工を積み重ねております。小規模企業である強みを生かし、現場ごとの状況に応じた柔軟な対応ときめ細やかな品質管理を徹底し、安全第一の姿勢のもと、無事故・無災害を目指した施工体制を維持してまいりました。

近年は土木の仕事に加え、農業にも取り組んでいます。自然と向き合い、土に触れ、作物を育てることは、地域の未来を育てることにもつながる大切な仕事です。主にさつまい芋の苗づくりは、園児さんが大変喜んでくれています。

品質に配慮した苗づくりを通じて、地域農業の活性化にも寄与しております。今後も土木事業と農業の両面から、地域とともに発展する企業を目指してまいります。自分たちの手で育てた農産物が、地元での食卓に並ぶことに大きな喜びを感じています。



第38回  
 (一社)沼津建設業協会  
**写真コンクール**



最優秀賞「夏の堂ヶ島の日差し」  
 小宮山信義さん



優秀賞「浜名湖飛行」岡本茉伊さん



優秀賞「教会の水面」金田佳祐さん



佳作「夕道」大藪貴博さん



佳作「洞窟の向こう側」大藪宏美さん



佳作「芦ノ湖を望む」池谷宇弘さん